

[News Release]

報道関係各位

2013年3月1日

ありがとう大賞運営事務局

今年一番の“ありがとう”を読む 第1回「ありがとう大賞」大賞受賞作

きたばやし うか きんいろ えがお

北林 雨夏・著 『金色の笑顔』

「終末医療」をテーマに少女の成長を描く現代的リアリズム

2013年3月2日(土)全国の書店にて発売

<http://www.php.co.jp/arigato-novels/>

“心からの感謝の気持ち＝arigato”をテーマに書かれた小説作品を募集し、広く社会に発表することを目的とした小説アワード、「ありがとう大賞」の第1回大賞受賞作品『金色の笑顔』（北林 雨夏・著）が、2013年3月2日(土)より全国の書店にて発売されます。

『金色の笑顔』は、主人公の少女、小麦が、両親の離婚、学校でのいじめ、重病を患った祖父との関係を通じて成長してゆく姿を描いた物語です。

単に一人の少女の成長を描いただけでなく、現代的なテーマである「終末医療」の分野に着目し、人間の尊厳に触れたリアリズムを表現した作品性が高く評価され、今回見事大賞に選ばれました。

「ありがとう大賞」は、昨年2012年1月に創設され、体験、創作を問わず、“ありがとう”をテーマに執筆された小説作品を募集し、広く社会に発表することを目的としたアワードです。「今年一番の“ありがとう”を読む」をコンセプトに、毎年の“ありがとう”の気持ちを体現できる代表的なアワードを目指して今後も邁進して参ります。

■『金色の笑顔』概要

タイトル：『金色の笑顔』（きんいろのえがお）

著者：北林 雨夏（きたばやし うか）

判型：B6判（ソフトカバー）176ページ

ISBNコード：978-4-569-81071-3

発売日：2013年3月2日(土)

定価：1,000円(税込)

出版社：株式会社 PHP 研究所



■『金色の笑顔』あらすじ

高校2年生の安藤小麦は、両親が離婚し、母親と祖父と3人で暮らしていた。日々募る孤独感を自分でも持て余し、不登校予備軍になっていた小麦。そんな中、祖父の肺に癌が見つかり、余命3ヶ月と宣告された。その祖父が小麦にある“お願い事”をしてきたのだ。「俺が描いたこの絵を、とある人に届けて欲しい」それは祖父が初恋の人へ向けた大事なメッセージだった。一度は断ったものの、祖父が元気になることを願って絵を届ける小麦。そこで出逢ったさまざまな人たちとの触れ合いの中で、小麦は、寂しいのも辛いのも、自分ひとりではないことに気づいてゆく――。

■著者プロフィール

北林 雨夏(きたばやし うか)
東京都生まれ。
脚本家・構成作家

<受賞コメント>

「ありがとう」という言葉が大好きです。想いが溢れたとき、喜びを伝えたくて口にする言葉だからです。そこには、とてもステキな日常のシーンが展開されていることでしょう。私が触れあった溢れる想いを小説にしました。この作品で大賞を頂き、とても嬉しく感激しております。作品に詰まった「ありがとう」の想いに、もうひとつ、私からの溢れる「ありがとう」を加えさせていただきます。本当にありがとうございました。

■「ありがとう大賞」について

「ありがとう大賞」は、“心からの感謝の気持ち=arigato”をテーマに書かれた小説作品を募集し、広く社会に発表することを目的に、2012年1月に創設されたアワードです。

3.11以降、改めて気付かされた大切なことがたくさんありました。このような時代だからこそ、当たり前のことを当たり前と思わず、当たり前と思えることにでも感謝の気持ちを持っていたいと「ありがとう大賞」は考えております。「ありがとう」、今改めて、この言葉についてみんなで考えていきたい、そして、もう一度、生まれたことに感謝し、前向きに考えるきっかけにしてもらいたい、そんな思いで本賞を設立しました。

毎年の“ありがとう”を振り返られるような、その1年間の空気、気持ちを体現するような、アワードにしていきたいと考えています。

主催：『“Arigato”Novels Award』運営事務局

出版：株式会社PHP研究所

パートナーズ：株式会社クオラス／株式会社サークルKサンクス／株式会社 i879／
株式会社リシェ／GOCREATIVE.Inc／アークエンタテインメント株式会社

■同時出版作品について

<第1回「ありがとう大賞」大賞受賞作(ダブル受賞)>

タイトル：リトル

著者：山本 高史(やまもと たかし)

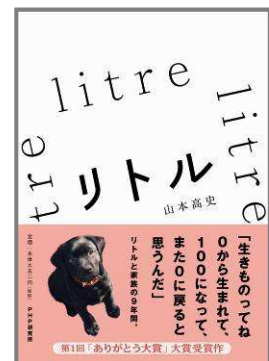
判型：B6判(ソフトカバー)192ページ

ISBNコード：978-4-569-81072-0

発売日：2013年3月2日(土)

定価：1,000円(税込)

出版社：株式会社 PHP 研究所



あらすじ：

ある日突然アッコちゃんの家に来て来た子犬、リトル。その日から、リトルとアッコちゃん・お父さん・お母さんたち家族の、長くて短い9年間が始まった。新しい家族、リトル。アッコちゃんの「おねえさん宣言」。日々繰り返されるリトルとアッコちゃんのバトル。初めて見るもの、聴くものに、目を輝かせるリトルとアッコちゃん。しかし幸せな数年間ののち、リトルは病に倒れ……!?! 犬は家族にとって、単なるプラスαではない。家族の心の中に棲んで、一人一人を変えて行く。リトルという犬を通して、アッコちゃん、そして両親までが成長してゆく姿を描く。